

九州大学統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻
履修証明プログラム

研究データ管理(RDM)支援人材育成プログラム

2023年度
受講者募集要項

1. 研究データ管理(RDM)支援人材育成プログラムとは

2021年3月に閣議決定された『第6期科学技術・イノベーション基本計画』に示されたとおり、大学等の研究機関は、新たな研究システムの構築のために「信頼性のある研究データの適切な管理・利活用促進のための環境整備」と強化が喫緊の課題として求められています。これを受けて、2023年1月、文部科学省オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方検討部会による審議のまとめにおいて、「大学図書館職員は、これまでの業務に加え、研究データの管理にも携わることになるため、大学における学問の在り方や研究のライフサイクルを理解することが不可欠であり、その中で自らが行う支援がどのような機能として位置づけられるか認識し、適切にそれを行っていく」という方針が示され、大学図書館等のこれまで大学等の研究機関において研究支援をしてきた部署が、研究データ管理支援にも積極的に関わる必要性が出てきました。このように、日本の大学等の研究機関においては、研究データ管理に向けた環境整備だけではなく、研究者が適切に、また、効率的に研究データを管理することができるような支援人材が求められています。

九州大学統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻では、これまで、ユーザーの視点に立った新たな情報の管理と提供の場を提案することを目指して、高度な情報専門職の育成を行ってきました。この度、上記に示した支援人材の育成ニーズにこたえるため、令和5年度から研究データ管理支援に焦点を絞り、①研究データ管理の遂行にあたり適切な支援ができる人材、②各々の研究組織において研究データ管理支援のための体制構築やサービス設計ができる人材、③研究データ管理支援人材として組織を超えたネットワークを構築できる人材等の育成を目的として、九州大学の全ての学府に在籍する大学院生だけでなく、大学をはじめとする研究機関の大学図書館職員、URA、研究推進に関わる部署等の第一線で活躍する実務家が科目等履修生として受講できるような「研究データ管理支援人材育成プログラム」を開講することにいたしました。

2. 履修証明プログラムとは

履修証明プログラムとは、平成19年度の学校教育法改正により創設された「履修証明制度」により、大学等に設置される教育プログラムです。これは正規課程に在籍する学生を対象とする学位プログラムとは別に、一般社会人等を対象として60時間以上の課程を提供し、修了者に対して学校教育法に基づき大学が公式に履修証明書を交付するプログラムです。

「研究データ管理支援人材育成プログラム」では、社会人を統合新領域学府の科目等履修生として受け入れ、履修により合格した科目については統合新領域学府により単位を認定します。本プログラムでは、75時間以上の課程の修了者(5科目5単位以上の修得)に対して履修証明書を交付します。

本学の大学院生が本プログラムの科目を履修した上で、統合新領域学府により合格科目の単位認定を受け、「5.修了要件」に記載の要件を満たした場合も、履修証明書を交付します。

3. 出願資格

- (1) 学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者または 2023 年 9 月 30 日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者または 2023 年 9 月 30 日までに学士の学位を取得見込みの者
- (3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者または 2023 年 9 月 30 日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者または 2023 年 9 月 30 日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者または 2023 年 9 月 30 日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者または 2023 年 9 月 30 日までに修了見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または 2023 年 9 月 30 日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、本学府において、本学府における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (10) 本学府において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2023年 9 月 30 日までに 22 歳に達するもの
- (11) その他本学において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※要件(9)～(11)で入学をお考えの方は出願書類提出前に「15.その他」に記載の事務局へご連絡ください。また他の条件について判断が難しい場合も事前に相談をお受けいたします。日本国籍を持たない者については、履修する学期末まで日本在留が許可されている者に限りません。

4. 開講科目

コア科目		
	科目名	概要
必修	研究データ管理基礎 (15 時間・1 単位)	研究データ管理支援の適切な遂行には、データ管理に関する社会的ニーズ、研究データ管理に関する研究機関の役割等についての理解が必須である。本講義では、研究データ管理の背景を把握し、大学等の研究機関における研究データ管理の意義や支援の必要性を理解する。そのために、オープンサイエンスの潮流、研究データに関する政策動向、研究データポリシー、研究データ管理における大学図書館等の研究支援組織や研究データ管理支援者の役割等についての知識を得る。
必修	研究活動の変化と情報管理の理論 (15 時間・1 単位)	研究データ管理支援者は、研究者の研究ライフサイクルに合わせた支援を行う必要がある。そのため、本講義では、まず、研究活動や学術情報流通の変化、データライフサイクル等についての基礎知識を得る。また、図書館情報学・アーカイブズ学・記録管理学における情報管理の理論についても学ぶ。研究に用いられる資料や情報を、適切に管理・提供していくために、必要となる情報管理の原理や原則、その方法論について基本的な知識を得る。
必修	LSS 特別講義1:研究データ管理支援 1 (15 時間・1 単位)	研究のライフサイクルに沿って、どのような研究データ管理支援が必要なのか、支援サービスの概要について学ぶ。本講義では、海外を中心とした先駆的な研究データ管理支援サービスの事例、支援体制の構築や支援サービスの設計方法、データマネジメント教育の必要性、そして、研究前にあたるデータ管理計画(DMP)の作成に関する支援、研究遂行中のデータの組織化等の知識を修得する。

必修	LSS 特別講義 2:研究データ管理支援 2 (15 時間・1 単位)	研究ライフサイクルに沿って、研究前・研究中・研究後の各段階で、どのような研究データ管理支援が必要かについて学ぶ。本講義では、特に、研究後にあたるデータの公開・保存に向けた基盤整備、公開に向けたデータの準備、リポジトリへの登録方法に関して必要な準備・支援を修得する。また、研究データ管理支援にあたって、支援人材に求められるマインドセットについても議論する。
必修	研究データ管理支援実習 (15 時間・1 単位)	本講義では、機関ごとの実情や性質に応じた研究データ管理支援サービスを、支援人材が運用する際に必要となる知識を各種実習および議論を通じて習得する。具体的には、研究データ管理支援サービスの実務経験者による実践例の共有と、これに関連した演習を実施する。さらに、履修生と実務経験者との議論、履修生同士の議論を通じて、研究データ管理支援サービスの運用に関する実践的な知識と技能の修得を目指す。

注:各年度の開講科目の詳細については、統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻のホームページ(<https://www.ifs.kyushu-u.ac.jp/lss/>)を参照。

5. 修了要件及び履修証明書

開講科目 5 科目 5 単位を修得した者に対して、学府教授会の議を経て、学府長が修了を認定します。

修了を認定された者へは、学校教育法の規定に基づき履修証明書を交付します。

6. 履修期間

履修期間は 1 年とする。

2023 年 10 月入学 2023 年 10 月 1 日～2024 年 9 月 30 日

7. 募集人員

2023 年 10 月入学 10 名程度

8. プログラム実施場所

九州大学伊都キャンパス及びオンラインでの講義

9. 出願期間

2023年10月入学 2023年6月26日(月)～~~7月11日(火)~~必着

7月19日(水)17時 必着

*** 出願期間を延長しました**

10. 出願手続

履修希望者は、下記の提出書類を九州大学工学部等教務課統合新領域係(イースト事務室)に郵送すること。(送付先については、「15. その他」を参照)

提出書類

- (1) 入学願書
- (2) 履歴書
- (3) 出願理由書
- (4) 最終学校卒業証明書・成績証明書
- (5) 定型封筒(住所・氏名を明記し、94円切手を添付したもの)
- (6) 検定料の銀行振込証明書の写し

11. 検定料

9,800円(非課税)

検定料は以下の銀行口座に振り込み、振込証明書の写しを出願手続きの際に提出すること。

【振込指定口座】

三井住友銀行 九州支店 預金種別:普通預金

口座番号:6200158

口座名義:国立(コクリツ)大学(ダイガク)法人(ホウジン)九州(キュウシュウ)大学(ダイガク)

コード:7FS

12. 障害等がある場合の事前相談

障害等があり、入学後の学修に際して特別な配慮を必要とする方は、出願に先立ち、九州大学工学部等教務課統合新領域係(イースト事務室)に相談すること。

13. 受入審査および審査結果の通知

(1) 受入審査は書類により行う。

(教育上の諸条件を考慮して適当でないと認めるときには、履修を許可しないことがある。)

(2) 審査結果は文書により通知する。

14. 入学手続

審査結果通知の際に同封される「入学手続について」にもとづき下記の期間内に手続きを済ませて下さい。

14-1. 手続期間

審査結果到着後～8月31日(木)

14-2. 入学料および受講料

(1) 入学料 28,200 円

(2) 受講料 74,000 円

15. その他

(1) 履修証明プログラムの履修にあたっては、上記のほか、本学の諸規定を順守すること。諸規定に違反等があった場合は、学府長が、教授会の議を経て履修の許可を取り消すことがある。

(2) 既納の検定料、入学料及び受講料は返還しない。

(3) 詳細については、下記に照会のこと。出願書類の郵送先も下記宛とする。

〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡 744(イースト1号館 B-438)

九州大学工学部等教務課統合新領域係(イースト事務室)

電話(092)802-6501